

2017年6月16日

電通、ディープラーニングを用いたテレビ視聴率予測システム「SHAREST（β版）」を開発

株式会社電通（本社：東京都港区、社長：山本 敏博）は、人工知能（AI）学習手法のひとつであるディープラーニング（深層学習）を用いることで、高精度にテレビ視聴率を予測できるシステム「SHAREST（β版）」（シェアレスト・ベータ版）を開発しました。

当社は2015年10月より、データアーティスト株式会社との共同で、過去の視聴率データ、番組ジャンル、出演者情報、インターネット上のコンテンツ閲覧傾向などのデータを教師データとしたディープラーニングによるモデル構築を行い、放送前のテレビ視聴率を予測するシステムの研究開発を行ってきました。そしてこの度、高速データ解析プラットフォーム内で予測視聴率を算出するプログラムの構築に至りました。これにより、視聴率の安定的な予測が可能になります。

今後当社は「SHAREST（β版）」を活用し、関東地区で1週間内の放送枠の高精度な視聴率予測を実現する検証プロジェクトを実施します。順次、関西や中部地区にも拡大していく予定です。

さらに近年、テレビメディアに関係するさまざまなマーケティングデータの取得が可能になってきています。そうしたデータの利活用のひとつとして、過去のテレビ視聴とマーケティングデータとの関連性をAIが学習することで、これまで達成が困難であったターゲット別（性年代別など）の視聴率予測とその自動化が実現できるようになります。これにより、それぞれターゲットの異なる商材の広告を最適なCMポジションに割り付けることなどが可能になります。今回のプロジェクトでは当社内で予測視聴率を用いた実施検証を行い、将来的には、テレビCMの素材割り付けの高度運用と広告効果を高める実証を行っていきます。

また、複数ブランドのCM素材を予測視聴率に基づいて広告枠に割り付ける場合、現在は視聴率の予測を人が行うケースがありますが、業務負荷が膨大になるという課題がありました。視聴率予測のAI対応による自動化は、業務の効率化においても大いに効果があると期待しています。

今後も当社は、メディアに関係するさまざまなマーケティングデータにAIを活用し、顧客企業の新たな価値創造に貢献してまいります。

<「SHAREST (8版)」概念図>



以上

【本件に関する問い合わせ先】

株式会社電通 コーポレートコミュニケーション局 国内広報部
長澤、湊 TEL : 03-6216-8041

【事業に関する問い合わせ先】

株式会社電通 データ・テクノロジーセンター
岸本、前川、松田 Email : info.sharest@dentsu.co.jp